

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[問題](#)

[解決策](#)

[無効なロギング](#)

[ディスク 消去領域](#)

[次のステップ](#)

概要

この資料は突堤が Unity 接続を一杯にするルートパーティションをログオンする Cisco Technical Assistance Center (TAC) の注意に最近来てしまった問題を記述したものです。Cisco バグ ID [CSCts98388](#) が問題にどのようにについての対処するか混合がずっとあります。この資料の目標は問題に対処するためにどんなステップが必要となるか説明することです。さらに、それは次のステップを記述します。

前提条件

要件

Cisco は Cisco Unity Connection バージョン 8.5.1 の知識があること、8.6.2 および 9.x を推奨します。

使用するコンポーネント

この文書に記載されている情報は Cisco Unity Connection バージョン 8.5.1、8.6.2、および 9.x に基づいています。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな (デフォルト) 設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

問題

ログの通知を受信するかもしれませんがまたは実時間監視 ツール (RTMT) によってその Unity 接

続ディスクスペースはルートパーティションで低いです。問題は場合によっては突堤ログが領域の大きい部分を消費することです。

Cisco バグ ID [CSCts98388](#) はこの問題に対処するためにファイルされました。ただし修正されたソフトウェアのバージョンが問題をどのようにについての提起するか、混合がずっとあります。Solution セクションは問題を解決する方法を論議します。

解決策

無効なロギング

ロギングをディセーブルにするためにこれらのステップを完了して下さい。

1. 修正されるこの問題がある Unity 接続のためのソフトウェアのバージョンを得て下さい。このバージョンがロードされれば、利用可能な以前にそこになかったコマンドを作成します。

注 修正されたバージョンをロードすることがそれ自体問題を防がないことを理解しておくことは重要です。

要求 ログのためのコマンドはここにあります:

```
set cuc jetty requestlog enable
set cuc jetty requestlog disable
```

標準エラー出力ログのためのコマンドはここにあります:

```
set cuc jetty stderrlog enable
set cuc jetty stderrlog disable
```

Stdout ログのためのコマンドはここにあります:

```
set cuc jetty stdoutlog enable
set cuc jetty stdoutlog disable
```

2. ログがドライブを一杯にし続けることを防ぐために両方のこれらのコマンドをパブリッシュおよびサブスクライバ入力して下さい:

```
set cuc jetty requestlog disable

set cuc jetty stderrlog disable

set cuc jetty stdoutlog disable
```

3. 実施されるコマンドのために突堤サービスを再開して下さい。サービスの再始動なしで、ログは領域を書き、一杯にし続けます。

注 アップグレードが完了するとき、突堤ログは再び有効になります。このようにアップグレードが完了した後、ステップ 2 でロギングをディセーブルにし、突堤サービスを再開する

ためにリストされている 3 つのコマンドを入力して下さい。

ディスク 消去領域

これらのステップ ディスク 消去領域を完了して下さい。

残念ながら、Stdout ログだけ admin によってログを取除くコマンドがあります。他の 2 つのログはルートによって取除かれなければなりません。このセクションはそれらに気づいているようにコマンドを説明します。この資料は TAC ケースをオープンするとき参照することができます。

要求 ログ

ログのためのパスはここにあります: `/usr/local/jetty/logs/ *.request.log`。

ルートによってログを取除くコマンドはここにあります:

```
rm -fv /usr/local/jetty/logs/2014*.log
```

標準エラー出力ログ

ログのためのパスはここにあります: `/var/log/active/jetty/ *.stderrout.log`。

ルートによってログを取除くコマンドはここにあります:

このコマンドは 5 日より古いファイルを削除します:

```
rm -fv /var/log/active/jetty/2014*.log
```

Stdout ログ

ログのためのパスはここにあります: `/var/log/active/jetty/ *.stdout.log`。

ルートによって削除するべきコマンドはここにあります:

```
rm -fv /var/log/active/jetty/2014*.log
```

admin によって削除するべきコマンドはここにあります:

```
file delete activelog /jetty/2014*.log noconfirm
```

次のステップ

ビジネスユニットはこのロギングがデフォルトでディセーブルにされるソフトウェアに機能拡張を調査します。

Cisco バグ ID [CSCup13856](#) はこれらのポイントを当てるために上がりました:

- ディセーブルにするためにトレースする突堤ログのデフォルト値を設定して下さい。
 - CLI の設定はアップグレードに持続する必要があります有効または無効になります。
- 現時点で、実装の特定の日付がありません。